



ふじいりつ子

中小企業の販路開拓の支援について（平成 22 年 12 月）

我が国の経済発展を支えているのは、日本人の卓越した技術力を活かした「ものづくり」です。私の地元周南市では、平成 16 年に、地元企業により「周南新商品創造プラザ」が創設され、去る 10 月には、周南地域地場産業振興センターにおいて、「やまぐち総合ビジネスメッセ」が開催されました。

発砲スチロールを加工した段差解消スロープ、水素自転車、地震の時に家具などの倒壊から身を守る防災装置など、土木建築、環境、生活文化等、幅広い分野の優れた製品が紹介されるほか、県や市町の公共工事発注担当者向けに製品を説明する「ふるさと調達売り込みプレゼンテーション」も同時に開催されました。

ふるさと産業を支えていくためには、まず、県産品の地産地消に積極的に取り組んでいくことが重要ですが、大きなビジネスチャンスは都市圏にありますので、東京や大阪などに向けた売り込みルートの開拓が必要です。

11 月に、首都圏でこれらの企業製品を売り込む「やまぐちビジネスマッチング in 東京」が開催されました。地元産の製品の売り込みに当たっては、次の点を検討していただきたいと思います。

1) 「ビジネスマッチング in 東京」に参加された企業は 12 社。折角の PR の機会なので、一社でも多く参加できるよう、調整をしていただきたい。

2) 優れた技術をもつ、ふるさとの企業の製品が簡単に検索できるよう、例えば、「やまぐちの新製品」と入力すれば、こうした企業の製品が表示されるように、PR の仕方ももっと検討していただきたい。

3) 信頼度が上がるので、公共事業での利活用についても働きかけていただきたい。

県の一層の知恵を絞った支援により、こうした企業が更なる発展をとげて、地域経

済の活性化に繋がり、ひいては、税収アップや雇用の創出にもつながります。

県では、優れた製品を開発する中小企業の販路開拓の支援「ふるさと製品の売り込み」について、今後、どのように取り組んでいかれるのかご所見をお伺いいたします。

〔森商工労働部長答弁〕

意欲のある中小企業を支援していくため、展示会への出展支援をはじめ、「新製品フェア」の開催などに取り組んできたところです。この結果、全国展開や海外進出を果たした企業、新分野へ積極的に事業展開する企業が生まれるなど、一定の成果があがってきております。

こうした元気な企業を更に育成していくためには、販路開拓支援が効果的であることから、本年度、新たに「やまぐち総合ビジネスメッセ」を開催し、引き続き、首都圏や関西圏で開催される全国規模の商談会や展示会への参加を促進するなど、きめ細かな支援を行っていくこととしています。

また、本年4月に開設した「やまぐちものづくり．net」の充実を図り、ふるさと企業を紹介するとともに、「やまぐちの新製品」等を全国に販売するための専用サイトを新たに開設するなど、インターネットを活用した取組を進めていくこととしています。

更に、地産地消の観点から、関係部局と連携して、公共工事における県内資機材の優先使用を促進するため、新たな方策も検討いたします。

今後とも、やまぐち産業振興財団をはじめ関係支援機関との密接な連携の下、県内外におけるPR機会をより多く確保し、大都市圏でのビジネスチャンスを広げるためのネットワーク形成を促進するなど、中小企業の販路開拓を積極的に支援してまいります。